

親子関係とお小遣い

Relationship between Parent-Child Bond and “Okozukai” (an Allowance)

松 田 典 子
Noriko MATSUDA

要旨：親子関係を経済的な側面から捉えると、親から子に与えるお金の一つに、お小遣いがある。お小遣いというお金を媒介したつながりは、親子関係とどのような関連性があるのか。

本研究では、親子関係について、親子の会話や親との関係に着目し、お小遣いの額にどのように表れるのかを中学生・高校生を対象とした調査データから検証した。

分析の結果、まず親子での会話の違いでは、お小遣いの金額には差がみられず、有意な差は得られなかった。一方、中学生においては、父親との関係がうまくいっていない場合に、金額が高くなる傾向にあり、有意な結果となった。小遣いの金額が高いのにも関わらず、父親との関係がうまくいっていない理由は、親が子どもの欲求を理解せずに小遣いをあげていることや、関係がうまくいっていない親子が経済的なつながりに依拠している可能性が示唆される。

キーワード：お小遣い、親子関係、お金、媒介機能

I. はじめに

お金、いわゆる貨幣は、人と人との物やサービスを交換するが、一方、その人と人とのやり取りによって、人間同士の新たな関係性ができたり、交換の中に何らかの意味合いが込められていたりする。例えば、ヴェブレンの顕示的消費のような人に見せびらかすための消費を行うことやボードリヤールの記号論的な消費などに代表されるように、ただの交換以上の関係性や意味が考察されてきた。

人間関係の中で、最も身近な関係には、親子関係があるが、お金を介する親子関係についての考察は多くはない。親子間で行われるお金のやり取りには、親から子に渡すお小遣いがある。お小遣いからみた親子関係とはどのようなものであろうか。本研究では、お小遣いといったお金と親子関係とがどのような関連を持つのかを検証した。

* まつだ のりこ 文教大学教育学部

2. 先行研究

これまでの先行研究には、次のようなものがある。竹尾ら（2009）は、他者との関係（親子関係・友だち関係）をつなぐお金と社会の規範をつなぐお金の2つの視点で整理し、お金は商品交換を媒介するだけでなく、文化的道具として規範的に親子関係や友だち関係を媒介しているとしている。調査では、小学生では親の権威に基づく親からの贈与が中心であるが、学校段階の上昇により市場経済における購買行動の手段という意味合いが強くなることから、子どもの発達や自立過程が生じることを分析できるであろうと示唆している。また同様の観点から、山本ら（2000）は、実践例を挙げ、高橋ら（2016）では、他国との比較研究を行っている。

お小遣いの金額の規定要因については、鶴薗ら（2012）が、小中学生を対象として、分析している。お小遣いは、性別や学年のみで決まるのではなく、家庭の教育方針によっても規定されることを明らかにしている。また加賀ら（2020）は、地方都市部の小中学生を対象としたお金に対する態度についての調査を行っており、ここでは、学年が上がるにつれてお小遣いの額や物の所有が増える一方、金銭管理行動をとらなくなり、金銭管理と家族との会話との関連性を分析して家庭内の会話が重要な役割を担うと推察している。

そこで、これらの先行研究から、家庭の教育方針の影響や家族との会話の重要性などが示唆されていることから、本研究では、親子関係とお小遣いの関係性について、家族との会話や親子の関係の良さなどに着目した。

3. データと変数

3.1 使用するデータ

「NHK 中学生・高校生の生活と意識調査」（NHK 放送文化研究所 世論調査部）の2012年版の個票データの二次分析を行った。本稿では、中学生と高校生を分けて分析を行った。中学生と高校生では、学年に応じてお小遣いをもらう額が変わってくると考えられるからである。

3.2 使用する変数

被説明変数

分析の被説明変数は、「お小遣いの額」の質問項目を用いる。尺度は9件法である（回答のうちの「わからない、無回答」は除いた）。

説明変数

分析の説明変数は、以下を用いる。

1. 属性：学年、性別
2. 親子の会話
3. 父子関係の評価
4. どんな父親か：①わたしに対してきびしいほうだ、②わたしのことを、よくわかってくれる、③わたしの勉強や成績について、うるさく言うほうだ、④わたしにいろいろなことを話すほうだ、⑤わたしに対してやさしくあたたかいほうだ
5. 母子関係の評価
6. どんな母親か：4と同じ

各変数についての記述統計量は、表1、表2の通りである。

表1 記述統計量（中学生）

| | 数 | 平均値 | 標準偏差 | 最大値 | 最小値 |
|--------------------------------|-----|------|-------|-----|-----|
| おこづかいの額（9段階） | 567 | 1.52 | 1.238 | 6 | 0 |
| 性別（男性=1、女性=0） | 570 | 0.52 | 0.500 | 1 | 0 |
| 学年 | 568 | 1.98 | 0.803 | 3 | 1 |
| 親子の会話 | 569 | 1.47 | 0.650 | 4 | 1 |
| 父子関係の評価 | 500 | 1.48 | 0.677 | 4 | 1 |
| どんな父親か：わたしに対してきびしいほうだ | 481 | 0.27 | 0.446 | 1 | 0 |
| どんな父親か：わたしのことを、よくわかってくれる | 464 | 0.83 | 0.378 | 1 | 0 |
| どんな父親か：わたしの勉強や成績について、うるさく言うほうだ | 489 | 0.25 | 0.431 | 1 | 0 |
| どんな父親か：わたしにいろいろなことを話すほうだ | 474 | 0.68 | 0.466 | 1 | 0 |
| どんな父親か：わたしに対してやさしくあたたいほうだ | 463 | 0.87 | 0.331 | 1 | 0 |
| 母子関係の評価 | 538 | 0.80 | 0.427 | 4 | 0 |
| どんな母親か：わたしに対してきびしいほうだ | 531 | 0.41 | 0.493 | 1 | 0 |
| どんな母親か：わたしのことを、よくわかってくれる | 536 | 0.90 | 0.299 | 1 | 0 |
| どんな母親か：わたしの勉強や成績について、うるさく言うほうだ | 537 | 0.53 | 0.500 | 1 | 0 |
| どんな母親か：わたしにいろいろなことを話すほうだ | 541 | 0.83 | 0.376 | 1 | 0 |
| どんな母親か：わたしに対してやさしくあたたいほうだ | 529 | 0.93 | 0.252 | 1 | 0 |

表2 記述統計量（高校生）

| | 数 | 平均値 | 標準偏差 | 最大値 | 最小値 |
|--------------------------------|-----|------|-------|-----|-----|
| おこづかいの額（9段階） | 553 | 2.79 | 1.866 | 8 | 0 |
| 性別（男性=1、女性=0） | 557 | 0.50 | 0.500 | 1 | 0 |
| 学年 | 557 | 4.96 | 0.825 | 6 | 4 |
| 親子の会話 | 554 | 1.57 | 0.653 | 4 | 1 |
| 父子関係の評価 | 495 | 1.52 | 0.670 | 4 | 1 |
| どんな父親か：わたしに対してきびしいほうだ | 469 | 0.27 | 0.443 | 1 | 0 |
| どんな父親か：わたしのことを、よくわかってくれる | 451 | 0.82 | 0.382 | 1 | 0 |
| どんな父親か：わたしの勉強や成績について、うるさく言うほうだ | 482 | 0.24 | 0.429 | 1 | 0 |
| どんな父親か：わたしにいろいろなことを話すほうだ | 468 | 0.60 | 0.490 | 1 | 0 |
| どんな父親か：わたしに対してやさしくあたたいほうだ | 470 | 0.88 | 0.329 | 1 | 0 |
| 母子関係の評価 | 548 | 1.25 | 0.498 | 4 | 1 |
| どんな母親か：わたしに対してきびしいほうだ | 519 | 0.37 | 0.483 | 1 | 0 |
| どんな母親か：わたしのことを、よくわかってくれる | 516 | 0.93 | 0.261 | 1 | 0 |
| どんな母親か：わたしの勉強や成績について、うるさく言うほうだ | 526 | 0.46 | 0.499 | 1 | 0 |
| どんな母親か：わたしにいろいろなことを話すほうだ | 532 | 0.86 | 0.346 | 1 | 0 |
| どんな母親か：わたしに対してやさしくあたたいほうだ | 520 | 0.94 | 0.233 | 1 | 0 |

またここで従属変数となる「お小遣いの額」の分布を示す。中学生、高校生の回答分布は次のようになった（図1）。中学生では最も多いのは、「1000円～2000円程度」（37.0%）で、次いで「もらっていない」（30.9%）である。高校生では、最も多いのは、「3000～4000円程度」（34.6%）、次いで「5000～6000円程度」（29.4%）となっており、高校生になると、中学生に比べて、お小遣いの金額が高い方に分布していることがわかる。

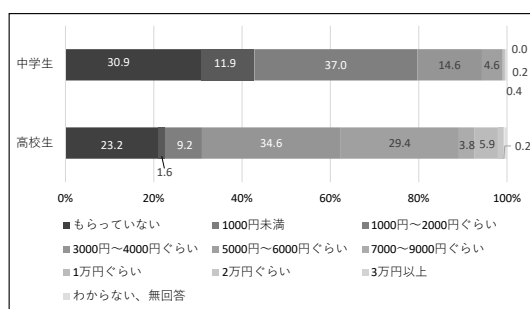


図1 お小遣いの額の割合の分布（中学生、高校生）

4. 分析結果

お小遣いの額について各項目の変数がどのくらい関係しているのかを重回帰分析を用いて分析を行った。中学生の分析では有意な結果が得られた。中学生の推計結果は、表3の通りである。

重回帰分析では、中学生のデータでは、「父子関係の評価」のみ有意な結果であった。父子関係が「うまくいっていない」方が、金額が高くなる傾向にある。また高校生のデータでは、有意な結果が得られなかった。

またお小遣いの額について、親子の会話などの各項目の変数がどのように関係しているのかをクロス表分析を用いて行った結果を、参考として、表4で示した。中学生データのクロス表分析では、「性別」「学年」「どんな母親か：わたしのことを、よくわかってくれる」が有意な結果となったが、親子の会話などによる影響はみられなかった。

表3 推計結果：重回帰分析（中学生）

| | 標準化係数 | 標準誤差 |
|------------------------------------|--------|-------|
| 性別ダミー | 0.201 | 0.133 |
| 学年 | 0.149 | 0.079 |
| 親子の会話 | 0.070 | 0.132 |
| 父子関係の評価 | -0.293 | 0.132 |
| どんな父親か：わたしに対してき びしいほうだ | 0.015 | 0.154 |
| どんな父親か：わたしのことを、 よくわかってくれる | -0.202 | 0.221 |
| どんな父親か：わたしの勉強や成 績について、うるさく言うほうだ | 0.294 | 0.158 |
| どんな父親か：わたしにいろいろ なことを話すほうだ | -0.076 | 0.147 |
| どんな父親か：わたしに対してや さしくあたにかいほうだ | -0.063 | 0.240 |
| 母子関係の評価 | -0.152 | 0.199 |
| どんな母親か：わたしに対してき びしいほうだ | 0.145 | 0.140 |
| どんな母親か：わたしのことを、 よくわかってくれる | -0.465 | 0.271 |
| どんな母親か：わたしの勉強や成 績について、うるさく言うほうだ | -0.117 | 0.138 |
| どんな母親か：わたしにいろいろ なことを話すほうだ | -0.261 | 0.195 |
| どんな母親か：わたしに対してや さしくあたにかいほうだ | 0.292 | 0.337 |

調整済みR2乗=0.074

表4 推計結果：クロス分析結果（中学生）（%）

| | | もらって いない | 1000円未 満 | 1000～ 2000円 | 3000～ 4000円 | 5000～ 6000円 | 7000～ 9000円 | 1万円ぐ らい |
|--|-----------------------|-------------|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------|
| 性別** | 男性 | 24.2 | 13.8 | 42.4 | 13.8 | 5.4 | - | 0.3 |
| | 女性 | 38.5 | 10.0 | 31.5 | 15.6 | 3.7 | 0.4 | 0.4 |
| 学年* | 中学1年生 | 35.1 | 14.9 | 37.8 | 10.1 | 2.1 | - | - |
| | 中学2年生 | 28.4 | 13.9 | 36.8 | 15.4 | 5.5 | - | - |
| | 中学3年生 | 29.5 | 6.8 | 36.9 | 18.8 | 6.3 | 0.6 | 1.1 |
| 親子の会話 | よく会話している | 32.9 | 13.3 | 36.9 | 13.0 | 3.5 | - | 0.6 |
| | まあ会話している | 28.2 | 8.5 | 40.1 | 16.9 | 6.2 | - | - |
| | あまり会話していない | 25.6 | 15.4 | 30.8 | 17.9 | 7.7 | 2.6 | - |
| | まったく会話していない | 33.3 | 33.3 | - | 33.3 | - | - | - |
| 父子関係の評価 | うまくいっている | 28.9 | 12.8 | 38.2 | 16.1 | 3.6 | - | 0.3 |
| | どちらかというとうまく いっている | 33.3 | 12.2 | 35.9 | 10.9 | 7.1 | 0.6 | - |
| | どちらかというとうまく いっていない | 45.2 | 9.7 | 29.0 | 12.9 | 3.2 | - | - |
| | うまくいっていない | 28.6 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 14.3 | - | - |
| どんな父親か：わたしに対 してきびしいほうだ | はい | 29.8 | 13.7 | 35.1 | 16.8 | 4.6 | - | - |
| | いいえ | 31.9 | 12.1 | 37.1 | 13.8 | 4.9 | - | 0.3 |
| どんな父親か：わたしのこ とを、よくわかってくれる | はい | 32.2 | 12.6 | 39.0 | 11.8 | 4.2 | - | 0.3 |
| | いいえ | 32.5 | 10.0 | 27.5 | 22.5 | 7.5 | - | - |
| どんな父親か：わたしの勉 練や成績について、うるさ く言うほうだ | はい | 23.3 | 12.5 | 40.0 | 15.8 | 6.7 | 0.8 | 0.8 |
| | いいえ | 34.1 | 11.7 | 37.1 | 13.1 | 4.1 | - | - |
| どんな父親か：わたしにい ろいろなことを話すほうだ | はい | 31.2 | 14.0 | 35.2 | 14.3 | 4.7 | 0.3 | 0.3 |
| | いいえ | 32.5 | 9.3 | 38.4 | 14.6 | 5.3 | - | - |
| どんな父親か：わたしに対 してやさしくあたにかいほ うだ | はい | 32.3 | 12.7 | 36.2 | 14.1 | 4.2 | 0.2 | 0.2 |
| | いいえ | 29.3 | 12.1 | 34.5 | 15.5 | 8.6 | - | - |
| 母子関係の評価 | うまくいっている | 31.3 | 12.2 | 38.4 | 14.4 | 3.3 | - | 0.5 |
| | どちらかというとうまく いっている | 29.1 | 14.5 | 35.5 | 15.5 | 5.5 | - | - |
| | どちらかというとうまく いっていない | - | - | - | - | - | - | - |
| | うまくいっていない | 30.8 | 12.7 | 37.9 | 14.6 | 3.7 | - | 0.4 |
| どんな母親か：わたしに対 してきびしいほうだ | はい | 28.2 | 10.2 | 42.1 | 15.3 | 3.7 | 0.5 | - |
| | いいえ | 33.3 | 14.1 | 34.3 | 14.1 | 3.5 | - | 0.6 |
| どんな母親か：わたしのこ とを、よくわかってくれる | はい | 32.1 | 12.3 | 38.8 | 13.5 | 2.9 | - | 0.4 |
| | いいえ | 26.4 | 11.3 | 30.2 | 20.8 | 9.4 | 1.9 | - |
| どんな母親か：わたしの勉 練や成績について、うるさ く言うほうだ | はい | 31.6 | 9.9 | 41.5 | 12.8 | 4.3 | - | - |
| | いいえ | 30.2 | 15.1 | 34.5 | 16.7 | 2.4 | 0.4 | 0.8 |
| どんな母親か：わたしにい ろいろなことを話すほうだ | はい | 32.5 | 11.4 | 38.1 | 14.8 | 2.7 | - | 0.4 |
| | いいえ | 26.1 | 14.1 | 37.0 | 15.2 | 6.5 | 1.1 | - |
| どんな母親か：わたしに対 してやさしくあたにかいほ うだ | はい | 31.4 | 12.7 | 37.3 | 15.1 | 3.1 | - | 0.4 |
| | いいえ | 38.9 | 11.1 | 30.6 | 11.1 | 8.3 | - | - |

**は1%水準で有意、*は5%水準で有意

5. 結論

本研究では、家族の関係がお小遣いの額にどのように表れるのかを検証した。その結果、まず親子での会話の違いでは、お小遣いの金額には差がみられず、有意な差は得られなかった。

次に、父親との関係では、父親との関係がうまくいっていない場合に、金額が高くなる傾向が見られた（表3）。

小遣いの金額が高いのにも関わらず、父親との関係がうまくいっていない理由は、親が子どもの欲求を理解せずに小遣いをあげていることや、関係がよくない親子では、経済的なつながりに依拠しているということなどが考えられる。また子どもの小遣いの額は、家庭の経済状況（親の収入など）によっても影響を受けると考えられるため、その場合、親が高い収入を得ていても家にいる時間が少ないなどの理由で、子どもとの関係がよくないという場合も考えられる。

本研究では、お小遣いの額から、親子関係にどのような違いにあるのかを検証した。今後、金額に関わらず、親子間のお金のやり取りや子どもに与えられる権限（子どもがお小遣いで買うことが認められる範囲など）によっても、親子の関係や子どもの発達にどのような影響を与えるのかを検証していきたい。

付 記

本研究は令和元年度 - 令和 3 年度 日本学術振興会科研費補助金（課題番号：19H00593）の配分を受けて行われた。また本研究の一部は、日本家政学会第 73 回大会（2021 年）において発表した。

謝 辞

二次分析にあたり、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター SSJ データアーカイブから「NHK 中学生・高校生の生活と意識調査, 2012」（NHK 放送文化研究所 世論調査部）の個票データの提供を受けた。

引用文献

- 加賀恵子・李秀眞・北原啓治・安川あけみ・佐藤沙織・小田桐由佳・三上真喜子（2020）「小・中学生のお金に対する態度と家庭生活との関連—青森県地方都市部における質問紙調査から—」『弘前大学教育学部紀要』第 124 号, p. 81-92
- 高橋登・山本登志哉編著（2016）『子どもとお金：おこづかいの文化発達心理学』東京大学出版会
- 竹尾和子・高橋登・山本登志哉・サトウタツヤ・片成男・呉宣児（2009）「お金の文化的媒介機能から捉えた親子関係の発達的变化」『発達心理学研究』第 20 巻第 4 号, p. 406-418
- 鶴薗 佳菜子・山口泰史・鈴木翔・武田真梨子・須藤康介（2012）「家庭の教育戦略としてのおこづかい：全国小中学生データの計量分析」東京大学大学院教育学研究科紀要 52., p. 157-167
- 山本登志哉・片成男。（2000）「文化としてのお小遣い—または正しい魔法使いの育て方について」『日本家政学会誌』No.51, p. 1169-1174